

尾張徳川家ゆかりの 美濃刀



短刀 無銘 志津 (名物 戸川志津) 徳川美術館蔵

岐阜県博物館の立地する関市は、中世の一大日本刀産地を継承し、いまなお現代刀匠が活躍する世界三大刀物産地の一角を占めます。岐阜県博物館では刀剣を展示の柱と位置づけ、開館以来、常設展示し、近年は特別展も開催してきました。これらの展示は、美濃・尾張で制作された刀剣や美濃・飛騨ゆかりの刀剣を対象としています。このたび、令和8年度に岐阜県博物館が開館50周年を迎えるに当たり、これを記念して、尾張徳川家ゆかりの徳川美術館刀剣コレクション展を開催することとなりました。

全国屈指の武家文化コレクションを誇る徳川美術館には、徳川家康の遺贈品を核に、尾張徳川家代々の刀剣類が伝来しています。それらは、いずれも由緒・伝来を伴う「質」だけでなく、数百点を数える「量」も他の追随を許しません。それら名刀・名物の陰に隠れる形でこれまで公開の機を逸してきたものの中には、美濃鍛冶の作刀が少なからず含まれています。

本展は、刀剣ファンの評価が高い徳川美術館収蔵刀剣から、これまで公開機会が稀であった美濃・尾張の刀を一括紹介するものです。戦国期、実用刀として天下人の地元で鍛錬され、用いられた美濃刀は、切れ味のよさや使い勝手が評価されこそすれ、美術・市場的価値は看過されがちでした。岐阜県博物館開館50周年を機に一堂に会する、知られざる美濃・尾張刀の優品群は、美濃関でこそ公開の意義があるといえるでしょう。貴重なこの機会に、是非ご来場・ご一覧ください。

長刀 銘和泉守兼定作 徳川美術館蔵

脇指 銘 伊藤肥後守泰光代/重胴二以其齒タウリ柳生氏利延所持之(部分) 徳川美術館蔵

岐阜県博物館学芸講座(講演会)
「徳川美術館の刀剣コレクション」

講師：安藤香織(徳川美術館学芸員)
日時：令和8年4月29日(水・祝) 13:30～15:00
会場：岐阜県博物館 けんぱくホール
定員：120名(要予約・先着順) ※3月29日(日)より申込受付開始



けんぱく教室「銘切実演」(企画：うおかね商店)
実演：小島兼時(刀匠)、宮田正寿(刀匠)
日時：令和8年5月4日(月・祝)
10:00～12:00 / 13:00～15:00
会場：岐阜県博物館 研修室
定員：限定50個(先着順) ※予約不要・当日受付
費用：見学は無料、銘切プレートは有料(別途入館料)

けんぱく教室
「かっこよく撮る！刀剣撮影ワークショップ」
※被写体は岐阜県博物館所蔵品
講師：とうふおと(刀剣・刀装具撮影家)
日時：令和8年6月7日(日) 13:30～15:30
会場：岐阜県博物館 講堂、人文展示室・刀剣コーナー
定員：15名(要予約・先着順) ※5月7日(木)より申込受付開始
費用：無料(別途入館料)



けんぱく教室
「職人の極意伝授！柄巻きワークショップ」
講師：平山直弥(柄巻師)
日時：令和8年6月14日(日) 13:30～15:30
会場：岐阜県博物館 講堂
定員：30名(要予約・先着順) ※5月14日(木)より申込受付開始
費用：材料費500円(別途入館料)



けんぱく教室
「目釘抜きをつくる！」
講師：柴田明芳(岐阜県銃砲刀剣類登録審査委員)
日時：令和8年6月21日(日) 13:30～15:30
会場：岐阜県博物館 講堂
定員：30名(要予約・先着順) ※5月21日(木)より申込受付開始
費用：材料費1,500円(別途入館料)



交通案内



- 東海北陸自動車道 関インターから車で5分
- 岐阜バス(小屋名バス停下車 徒歩20分)
※岐阜駅方面からは、JR岐阜駅14番乗り場または名鉄岐阜駅6番乗り場でご乗車ください。(岐阜関線、岐阜美濃線)
※関駅からは、関駅西側の関シティターミナルバス停からご乗車ください。(岐阜関線)
- 関シティバス(百年公園バス停下車300m・ベシア前バス停下車徒歩10分)
※関駅からは、関駅西側の関シティターミナルバス停からご乗車ください。(わかくさ・小金田線、水～日曜日)

お車でお越しの方は岐阜県百年公園北口駐車場(無料)をご利用ください。北口から博物館まで300mです。歩行が困難な方は博物館入口までお車の乗り入れができますので、百年公園管理事務所でお申し出ください。※南口駐車場から博物館までは、徒歩約2km(勾配有り)です

